

クロヒカゲモドキ

Lethe marginalis

兵庫県：A

環境省：絶滅危惧 I B類(EN)

種の概要

前翅長29～36mm程度。翅の表面は黒褐色、裏面の地色は淡褐色で、黄色く縁取られた黒色の眼状紋を9個持つ。低山地の雑木林の林縁などに生息し、幼虫はススキ、チジミザサなどを食べる。年1化性で、成虫は6月～8月に見られる。



写真提供：刈田悟史

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

川西市、三田市、猪名川町、相生市、宍粟市、佐用町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○		○		○

特記事項

東部の4市町に16箇所、西部の6市町に9箇所の記録があるが、西部地域では1980年代に見られなくなり、東部でも1990年代になると限られた場所しか見られなくなった。コナラ、アベマキなどの明るい二次林の林縁部で、かつススキの生える草地在連続するような環境が常緑樹の成長で暗くなり、生息環境が孤立化した。

保護上の留意点